

都 筑 区 移 動 情報センター 通信 VOL.3

発 行：横浜市都筑区社会福祉協議会
都筑区移動情報センター
都筑区荏田東 4-10-3
電話 045-943-4059
FAX 045-943-1863
発行日：令和 1 年 9 月 1 日

「移動情報センター」は、
障害があって移動に支援を必要とする方の相談窓口です。
知的障害、精神障害、身体障害などのある方からのご相談に対し、
サービス事業所や地域のボランティアなどの紹介・コーディネートを行っています。

例えばこんなご相談があります。

近所の散歩に付き添ってもらいたい

学校の行き帰りに
付き添ってほしいな

お買い物と一緒に
行ってほしい



障害の種別や年齢、行先によって使える制度は異なりますが、まずは一度ご相談ください。

**移動支援の担い手はまだまだ不足しています！
ガイドヘルパー・ガイドボランティアとして活動してみませんか？**

「ガイドヘルパー」と「ガイドボランティア」の違い

「ガイドヘルパー」

障害のある方の外出を支援する職業です。
介護福祉士・ホームヘルパー2 級等の資格取得者、
または都道府県認定のガイドヘルパー養成研修
を修了している、などの要件を満たした方が、
移動介護事業所と雇用契約を結んだうえでお仕事
として移動を支援します。

※ガイドヘルパー養成研修の開催予定は、神奈川県
HP でご覧いただけます。

※養成研修の受講にあたっては、横浜市から受講料の
助成があります(上限 2 万円、要件あり)

「ガイドボランティア」

一般市民が障害のある方の外出に付き添う
ボランティア活動で、専門資格等は必要ありません。

「できる範囲で、できることを」と、多くの方
が通学・通所・余暇などの外出支援に協力いた
だいています。

※登録は随時受付しております。

※登録の上所定の活動報告書をご提出いただくと、
1 回につき原則 500 円の「奨励金」が横浜市から支
払われます。

障害について学んだり、ボランティアの体験談を聞く機会も設けています。詳しくは裏面へ

ガイドボランティアをやってみたい！でもちょっと不安、という方は…

【障害のある人を支援するボランティア講座】

障害のあるご本人や支援者等からお話をお聞きます。車いす介助や、視覚障害者誘導の体験もあります♪

「まずはお話だけ聞いてみたい」という方も大歓迎です！

第1回：10月18日（金）13:30～16:30 定員20名

（視覚障害・精神障害について）

第2回：10月30日（水）13:30～16:30 定員20名

（肢体不自由・知的障害について）

*どちらか1回のみのご参加も可能です。

会 場：横浜あゆみ荘（都筑区葛が谷 2-3）

申 込：開催日の2日前までに、電話・FAX・E-mail

(info@tuzuki-shakyo.jp) 等にて

①お名前②年代③参加希望回④電話番号⑤在住区 をお知らせ下さい。

定員を超えた場合は抽選の上、落選者のみご連絡いたします。



私のガイドボランティアいきいき体験談



今回は、視覚障害のある方の付添をしている伊東さんにお話を伺いました。

【プロフィール】

ボランティア歴8か月。

月に数回、図書館やマッサージ屋さんなどへの外出に付き添っています。

【始めたきっかけ】

区社協の「ボランティアサロン」で、ガイドボランティア活動をしている方に誘われました。

月に1～2回くらいならできるかなと、できる範囲でお引き受けしました。



【今では】

最初は不安でしたが、ご本人に教えてもらいながら活動しています。道に迷ったりと失敗もありましたが、お話も弾むようになってきて楽しいです。次にお会いする日を楽しみにしながら活動しています。



ゆいピー

笑顔のステキなお二人。

「セミの鳴き声が変わってきました。もうすぐ秋ですね」「百日紅の花が咲きましたよ」などお話ししながら付き添いされているのが印象的でした！

【報告】ガイドボランティア交流会実施しました。

令和1年7月24日（水）、ガイドボランティアのみなさまの交流会を行いました。

○半年、1年と続けていると相手の方との信頼関係ができてくる。それが嬉しい。

○ご依頼者は遠慮して要望を言えないのではないかと心配。移動情報センター職員が間に入って聞いてほしい。

○困った時は、周囲に助けを求めることも大事。周りも結構気にかけてくれるもの。

○事前にご家族から対応のコツを聞いていたので落ち着いて行動できた。あらかじめ情報をいただいておくのが大切だと思った。

…などのお声をいただきました。ご参加いただいたみなさま、ありがとうございました！